

仙臺南鐵道行捨着地 鈴本はるみ門司のはな之の妹下す

一向は等沙汰行しむた思ふへにりえへにき之方のるは門司のはな之が

あり流々ゆゆり海に薩をう形知れし居りましたへにりえへ出たゆれ

こより十五六年に成りたる下せう初免突然便り差下致す

る下せうサウラニミ下女元貿易高けし居るゆり地ほまりの吉野

川下り門司り五月にも便りありし下支技え日本親光園長

どいし居る水るとる下五月に帰るのりしたる日新聞の立橋高枝

さん仙臺工藝所には出にちるとをとお見せしたる新聞見之に聞たり

りたら新聞の主人お社に行きますすおてんを聞か来し下るとる下

は待ち居りしを仲へ帰りますとの下内主人お社へ行聞りし下

一時半下ツル園には立ちに居りしととる下比おありお見テルに行は念ひ

はさうて案みにし居りしととる下珍念ひたは路一たありした

は内のはな之の服部さんユケニ製作所のカタロクの主人お仙臺工藝所下

技えとの念ひれたさう下すお知が何事も強ていさ之の知事居るたさう下

和技えの流し居りしととる下人下すとる下門司に便りし下

女技えさるは高望お熱心とゆりした服部さんさるお人下内の白む下

は正にはお強おに成り居りし海外国人にも輸出せし居りし下

カタロクお見せすしととる下は注文しよも下エス等も輸出せし居りし下

居りし下よるお製作せし居りし下見おありは聞きたる下ととる

高橋貿易の旨を申す

仙臺市南鍛冶町一九三

服部工業所

電話(四)四〇九一番

拝啓 貴社益々市隆盛の程大慶に存じます。 附者 過敏社長官務友技務中末仙の御老地之云指導行に於て、 申上り申すに申置在り近引を以て縮むを以て申す。

小生、こり(子)エと主カ、製作、輸送等と以て申す。 其の外各機こり(子)エ、こり(子)エ、用実用此等と製作、輸送等、 猶、子、カ、タ、ク、全封申上り、申す旨、被下、猶、何、分、真、く、 申上り申す。 後、何、彼、と、又、申す、為、せ、こ、裁、き、は、く、存、じ、ま、す。

二、伸、小生儀、鈴木直次、存、つ、る、向、い、住、居、者、を、申、上、り、 兼、鈴、木、の、母、(林)より、申、上、り、承、知、申、上、り、又、常、に、何、彼、と、申、上、り、 申、上、り、申、上、り、皆、申、上、り、申、上、り、

29年 8月 13日

高橋貿易官舎中

仙臺市南鍛冶町一九三

販部工業所

電話(2)四〇九一



見張明細書

下ニケ(千エ) (E.A. J.S.B) 一セフ 八〇〇円 (当地裸液し値)

折疊式箱形盤りと千エとは全部ニケの小ホん箱ニ入川り

盤中の格納と川り更ハ外装ホん箱ニ入まん 一セフの形状とあり

月産 三〇〇〇セフ

セフ数 一セフ約 〇一セフ九〇〇グラム 八打ニ十セフとあり

ニケ(千エ) A-2 一箱 三〇〇円 (当地裸液し)

ニケ(千エ) 一セフ 一セ 五五円 (当地裸液し)

以上ありヨすの荷造その他ハ念ヲ存(中略)先末ヨすの協会中協定の
輸出入の業者中指示の得(中略)先の長(中略)の取引業者
トありヨす。セフの場合の業者の対するマ(中略)の含ん(中略)の長(中略)の取引業者

以上見張中

29年 8月 13日



Japanese
Style

J.S

B-1

European
Style

E.S

A-1

電話 (2) 四〇九一六

服部工業所

仙臺市南鍛冶町一九三



仙臺市南鍛冶町一九之

服部工業所

電話(2)四〇九一番

こけ(十ノ年)のり

(N.Y)

A-2

こけ(十ノ年)のり

K.Y

A-3